

## 第5回 立野小学校 授業研究会

### 講師

文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター

研究開発部 学力調査官

東海大学 児童教育学部 児童教育学科 准教授

國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 教授

玉川大学 教師教リーチセンター 客員教授

横浜市立三保小学校 校長

横浜市立大岡小学校 元校長

川上 真哉 先生

寶來 生志子 先生

寺本 貴啓 先生

八嶋 真理子 先生

鈴木 康史 先生

竹田 惇子 先生

授業者 1年3組 宮下 麻理奈

生活科「あきさん、あーそーぼっ！ ～あきとなかよし～」



「あきさん、あーそーぼっ！」と、校庭や根岸森林公園で見つけたどんぐりや落ち葉などの秋の宝物とどっぷり触れ合う授業をしました。毎日の校庭・公園探検で秋への移り変わりを感じていた子どもたちは、どんぐりや落ち葉で遊びたいことのイメージを膨らませていたので、授業が始まってすぐに、思い思いの活動に取り組むことができました。「はっぱのヘアサロンです。かみにつけてみませんか。」と参観に来た先生に話しかけたり、「どんぐりが多いと音が低くて、少ないと音が高いよ。」と気付いたことを友達に伝えたりして、遊びを広げたり工夫したりする姿が見られました。講師の先生からは、「自分が遊んだり試したりしたことを、上手に表現できる子どもたちですね。」と評価していただきました。

授業者 2年3組 仲真 汐香

生活科「もっと速く、もっと高く、もっと、もっと！もーっと！  
～あそんで ためして くふうして～」



身近にある物を使って遊び、できたことや発見したことを友達と伝え合う活動を通して、遊びに使える物が身近にたくさんあることやそれぞれの素材の特徴に気付くことができるような授業をしました。

「もっと高くするには」「もっと速くするには」「もっと楽しく遊ぶには」などと考えながら、たくさんの素材の特徴を生かしながら遊び方を試していきました。講師の先生からは「一人で夢中になって繰り返し遊ぶ姿がまさに浸る姿だった。」と子どもたちへの評価をいただきました。

授業者 3年1組 長谷川 椋太

理科「情熱の光、集めて、可能性を照らせ！ ～光の性質～」



鏡で反射した光を集めると、集まった光は明るくなり、光が当たった場所は温かくなるのかという問題を解決するために、鏡を使って反射したライトの光を観察し、光の当たった的の明るさと温度を調べる実験をしました。そして、得られた鏡1枚の時と、2枚の時と、3枚の時の結果を基に考察し、表現するなどして問題解決することができるような授業をしました。

実験結果を基にして、「反射した光は集めると予想通り明るくなる。」「反射した光を何枚分集めても、予想と違って温かくなりません。おかしい。」と考えていきました。

講師の先生方からは、「結果に基づいて考える力が身に付いている。」「思い通りにいかなかった結果から実験方法を見直したり、新しい問題を見いだしたりできる力が付いて来ている。」と子どもたちへの評価をいただきました。

授業者 6年1組 堀 優太

理科「手のひらを太陽に透かしてみれば ～人の体のつくりと働き～」



運動したり体を休めたりしているとき、吐いた空気の酸素と二酸化炭素の割合がどのようになっているのか、実験して得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決することができるような授業をしました。

様々な実験の結果を見比べ、「誤差の範囲内だから、立っているときと運動しているときで割合は変わらない。」「息を止めた時だけは、変わっているのかもしれない。」と、話し合っていました。

講師の先生方には、「ばらつきのある結果から、問題についてどこまで言えるのか高いレベルで考えている姿が素晴らしい。」「意欲的に学習に取り組み、自分が確かめたいことを確かめている。」と、子どもたちの姿を価値付けていただきました。